

「河川技術・流域管理分野 提案型課題(地域課題)」
(令和5年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
降雨流出氾濫解析と簡易型河川監視カメラ画像解析を用いたリアルタイム浸水予測の高度化	関西大学 橋本 雅和	B
<研究概要> 豪雨時のリアルタイム浸水予測の高精度化を達成すべく、簡易型河川監視カメラを用いた越水検知と降雨流出解析により、越流量推定と浸水予測を行い、精度を検証すると共にリアルタイムでの運用の課題を抽出する。本研究により全国に約4,400台設置されている監視カメラによる迅速かつ高精度な浸水予測体制が確立される。リアルタイム浸水域推定のための時間軸のタフさを備えつつ、地先の被災状況の詳細な把握を可能にするシステムの構築を試みる。		
<事後評価コメント> カメラによる越水に関わる情報を氾濫予測に利用すべく、現地適用を意識した検討が行われている。越流の評価にあたっては、堤防天端での標高で評価すべきである。さらに越流や堤防決壊に係る更なる検証を、模型実験などにより行うことが望まれる。		

※評価基準

- A:研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
B:一定の研究成果があった。
C:研究成果があったとはいえない。